平成 25 年度「首里高校内中城御殿（うどぅん）跡」発掘調査　現地説明会

沖縄県立埋蔵文化財センター

首里高校内中城御殿跡は、沖縄県立首里高等学校（那覇市首里真和志町 2 丁目 43）のグランド部分で発見された遺跡です。

なぜ遺跡だとわかったの？

現首里高校の校舎が老朽化したため、現在のグラウンドに新校舎の建設が計画されました。事前の試掘調査で、一直線に長くのびる石積みやたくさんの遺物がでてきたことから、遺跡が良好な状態で残っていることがわかりました。そのため、人力で少しずつ発掘し、遺跡の様子をきちんと記録することが必要になりました。

どんな遺跡なの？

今から約 300 年前に描かれた「首里古地図」という絵が残されています。この絵と照らし合わせてみると、新校舎建設の計画された場所が中城御殿であることがわかりました。

中城御殿ってなに？

中城御殿とは、次の琉球国王となる世子が暮らした邸宅のことです。名前の由来は、王子が王世子（王位継承者）になると、中城間切を領地としたことから、中城王子あるいは中城御殿と呼ばれたことにあります。

新旧の中城御殿

最初の中城御殿は、1621 年～ 1640 年ごろに現在の首里高等学校敷地内に造られましたが、1875 年（明治８年）に旧県立博物館跡地の新しい中城御殿に移転しました。

これまでの調査成果は？

これまで､遺跡の範囲を確認する試掘調査が行われています。限られた範囲の発掘調査でしたが、石積みや石列などの遺構が確認されました。非常に保存状態がよいことがわかっています。

首里高校内中城御殿周辺航空写真　（国土地理院数値空中写真 2010 年撮影　C 11-12）

首里高校内中城御殿周辺航空写真（戦前撮影）

平成 25 年度の調査成果は？

平成 25 年度の調査では、グラウンド全体を調査しています。部分的に確認されていた石積みや石列の大きさや長さなどの全容が少しずつわかってきています。建物のあった場所や、水場などの場所がわかってきました。

また、一部では、中城御殿よりも前の時期に作られた柱の穴なども見つかっており、中城御殿が創建される以前の様子もわかるかも知れません。

写真２　水場遺構

井戸の前には、きれいに石が敷かれています。水を排水するための溝もあります。

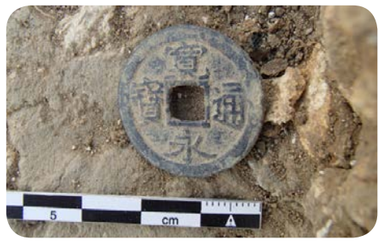
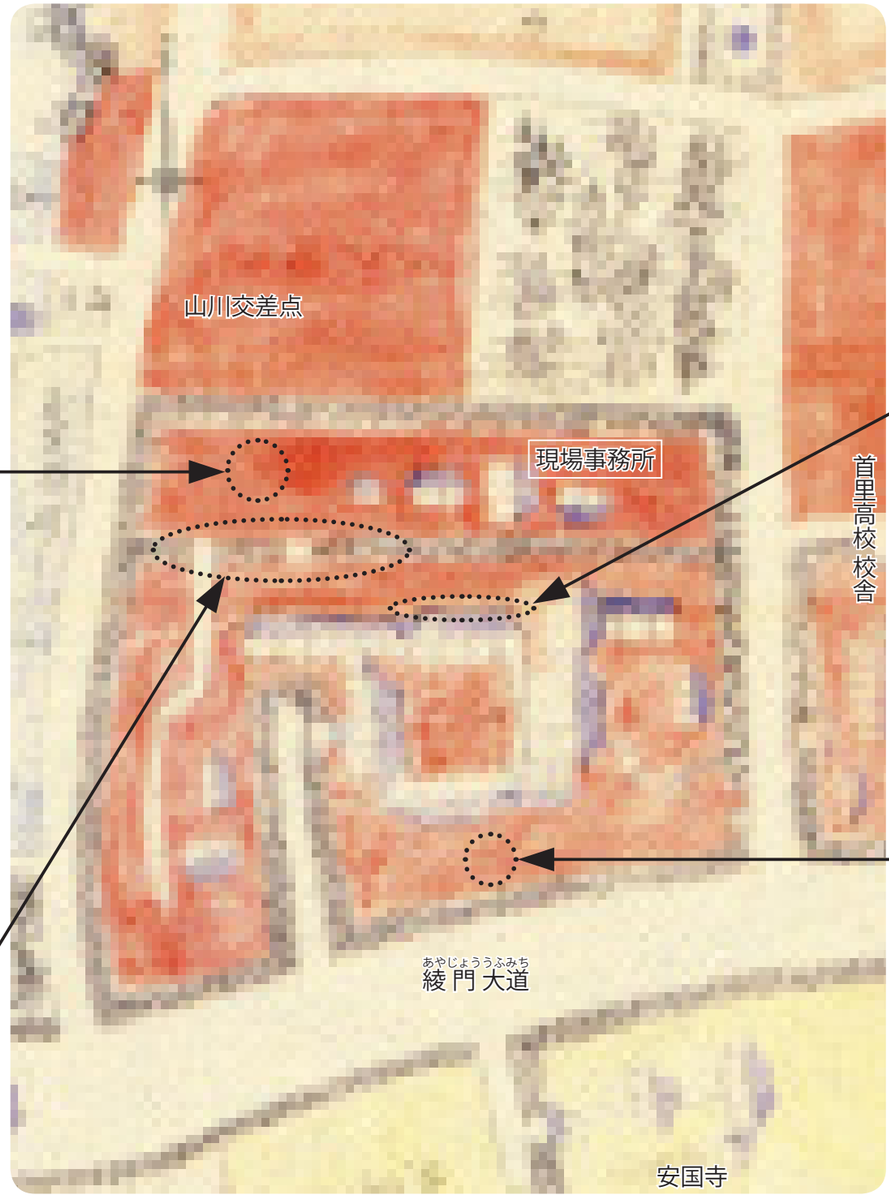


写真３　出土した「寛永通寶（かんえいつうほう）」

約 400 年前から鋳造され始めた銭貨です。

写真４　石積み遺構

調査区北側にある石積みです。首里古地図にある石積みだと考えられます。



1,700 年代に描かれた「首里古地図」　沖縄県立図書館所蔵

残された遺跡の謎と今後の調査の予定

写真１の石積みは、首里古地図に描かれた北側部分の石積みである可能性があります。しかし、写真２は首里古地図には何も描かれていない場所から発見されました。首里古地図が描かれたときにはなかったのか？それとも絵を描く人がこの場所をみることができなかったのか？など、たくさんの謎があります。

今後の調査成果と合わせながら謎を解明していく予定です。

今後の発掘調査期間は、平成 26 年度末を予定しています。ようやく中城御殿の一部が顔を出してきました。これからも丁寧に発掘を進め、当時の中城御殿の様子の把握に努めたいと考えています。

写真１　石積み遺構

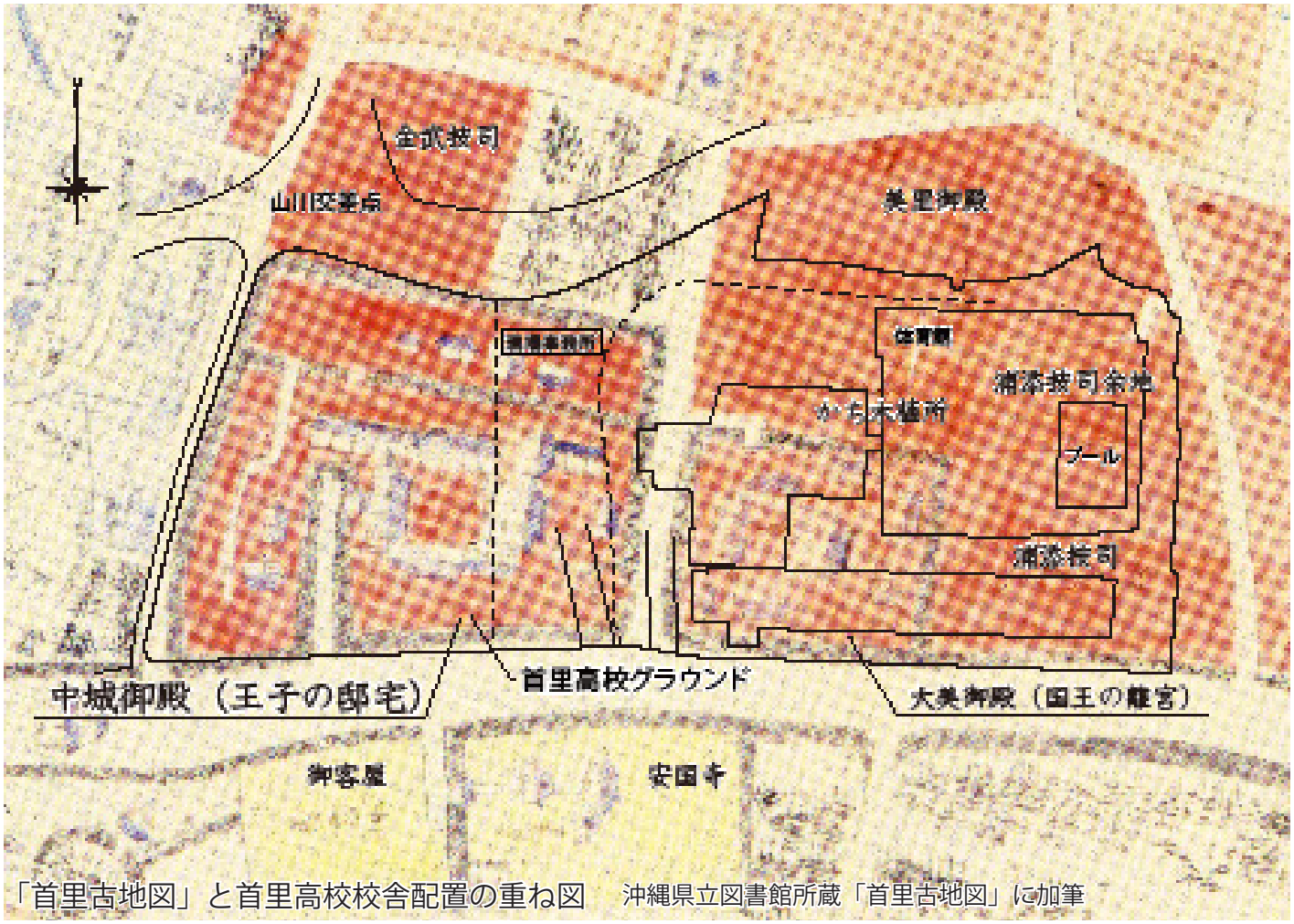
この石積みの上には屋敷の跡が残っています。基壇として使われていたと考えられます。

写真５　石組み遺構

石で四角形に組まれた遺構です。中からは、ニービ（微粒砂岩）やタイ産の壺などが見つかりました。

中城御殿関連年表

西暦	元号	首里高校内中城御殿跡
1621～40年	尚豊王代	尚豊王代　中城御殿が現県立首里高校の地に建設される
1798年	尚温4/寛政10年	国学を開く
1808年	尚灝5/文化5年	王子邸にて冊封使に「料理馳走躍」が出される
1870年	尚泰23/明治3年	中城御殿が龍潭北側に新しく造営されることが決まる
1872年	尚泰25/明治5年	久場川薬園を廃除し、中城旧殿の宅内にて改めて薬園を開き、栽培を按司奉行や親方奉行をこの役所に配置
1875年	尚泰28/明治8年	中城王子尚典公 新築した屋敷に移る
1879年	尚泰32/明治12年	廃藩置県に伴い、国学は県庁の所管となる
1880年	明治13年	東京師範学校から教員を招聘し、教則の認可を受け、首里中学校と改称
1887年	明治20年	沖縄県尋常中学校と改称
1899年	明治32年	沖縄県立中学校と改称
1911年	明治44年	沖縄県立中学校分校が独立し沖縄県立第二中学校と称したのに伴い、沖縄県立中学校は沖縄県立第一中学校と改称
1945年	昭和20年	沖縄戦により壊滅
1946年	昭和21年	糸満高等学校首里分校として発足
		首里高等学校として独立
1980年	昭和55年	創立100周年に際し校舎を改築し、現在に至る
2011～2012年	平成23～24年	那覇市教育委員会（試掘）、県教育庁文化財課（造成土掘削、測量）
2013年8月	平成25年8月	県立埋蔵文化財センターによる本調査開始



「首里古地図」と首里高校校舎配置の重ね図　沖縄県立図書館所蔵「首里古地図」に加筆

※ 許可なく本資料の複製および転載、複写を禁ずる。